

第15回 【特別対談企画】

「医は仁術である」。
その一念が医学の常識を覆す。

金沢大学附属病院 病院長
金沢大学名誉教授（整形外科）

富田 勝郎氏

金沢大学附属病院 病院長
金沢大学名誉教授（整形外科）

「医師」は
青天の霹靂

富田先生、お久しぶりです。私は富田先生とは一般法人金沢大学病院医療支援機構の監事として、また、医療法人社団

性善全備術(TES)、分かなりやすく言えば背骨の痛を取り出す手術法を開発されたこと有名ですが、そこに至る前

発され、その手術を十九歳の女性患者に初めて実施されました。その後、一九九四(平成六)

さい」と言っています。でも、無事痛を切除することができ、技術的に背骨の痛を取ることは可能

したらいくら儲かる」なんてことは考えず、目の前にいる患者さんの病気を治すことに集中します。日本ならではの特色

常識を疑い、
チャレンジ

とんでもない。こちらこそよろしくお願いたします。富さんの

向性を一気に旋回させました。その頃、大学の受験費は五千円ほどで、現在の価値に換算すると

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「仁術は日本の医療の特質」海外からTESの見学に訪れた外国人医師から、よくこんな

大企業並みですね。これだけの大企業を二十四時間体制で動か

過分のお言葉、ありがとうございます。富田先生は一九八九(平成元年)に世界で初めて腫瘍

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

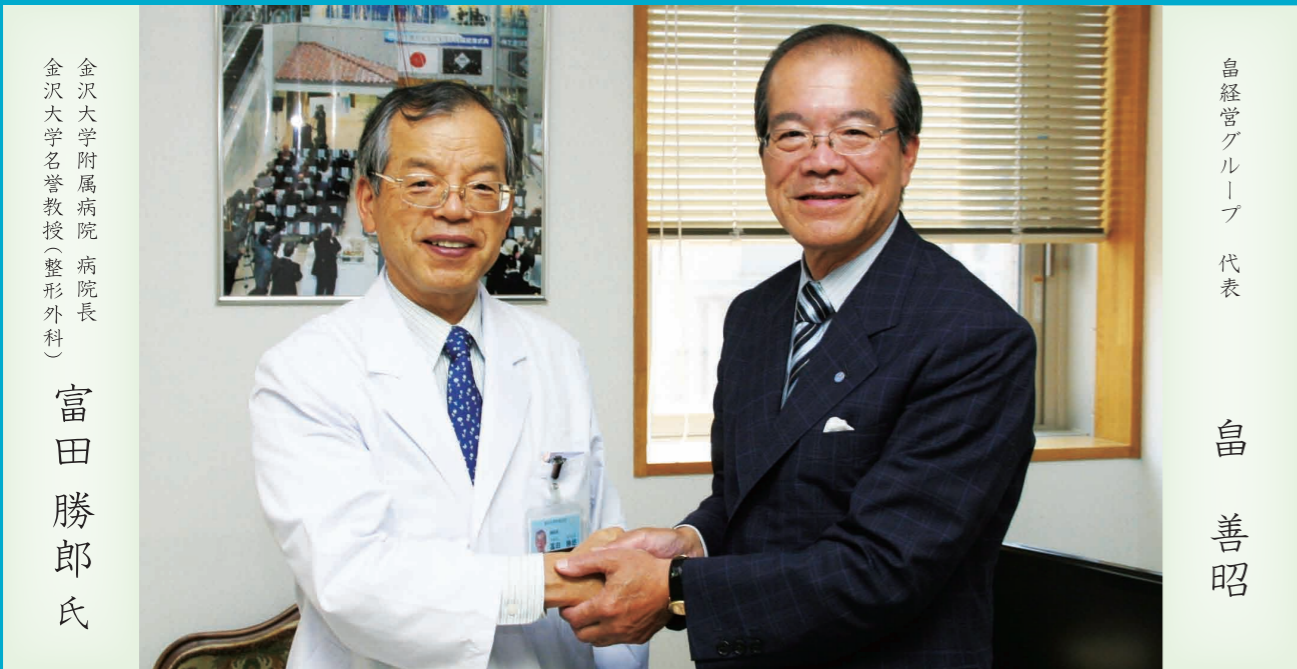
「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

富経営グループ 代表

富 善昭



金沢大学附属病院 病院長
金沢大学名誉教授（整形外科）

富田 勝郎氏

【Profile】 富田 勝郎氏 金沢大学附属病院 病院長 金沢大学名誉教授（整形外科）

1945年、富山県南砺市(旧福光町)生まれ。1969年に金沢大学医学部を卒業し、翌年、同学部整形外科教室に入局。1976年～77年、米国パツファロー市のロスウェル・パーク癌研究所に留学。1989年、金沢大学医学部整形外科教授に就任。2006年、整形外科教授兼金沢大学附属病院病院長に。2010年に整形外科教授を退任し、名誉教授に。一方、病院長職は2013年現在、4期目を務める。このほか、日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会長などの要職も歴任。主な受賞歴は、整形災害外科学助成財団Zimmer-Japan賞(1993年)、文部科学大臣表彰・科学技術賞(開発部門)(2008年)、日本整形外科学会賞(2010年)など。国内外で精力的に講演も行い、聴衆を飽きさせない話術には定評がある。

医に算術は
必要か

すわけですから、労務管理の面などで腐心されていることもあるのではないのでしょうか。

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「偏り」は
癌の原因にも

仁王立ちとはいいいですね。仁王の「仁」は「仁術の仁」です。仁王立ちをすることで、

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫

「あ、今も常識です。でも、背骨にできた痛は、背骨の中を通る神経の束である脊髄を圧迫